

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2006-43356(P2006-43356A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-238191(P2004-238191)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月20日(2009.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球の始動入賞に基づいて遊技者にとって有利な特定遊技状態となる遊技機において

、遊技球が入球可能な入球手段と、

前記入球手段への遊技球の入球に基づいて、前記特定遊技状態を発生させる特定遊技状態発生手段と、

前記特定遊技状態となると、遊技球が入球不可能な閉鎖状態から遊技球が入球可能な開放状態への変移を1ラウンドとして所定回数行う可変入球手段と、

前記特定遊技状態である時間を所定時間に近づけるように、前記特定遊技状態における前記可変入球手段のラウンド間のインターバル時間を変更する変更手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記変更手段は、

前記可変入球手段の所定ラウンドでの開放状態の時間を検出する開放時間検出手段を備え、

前記開放時間検出手段で検出した所定ラウンドでの開放状態の時間に基づいて、それ以降のラウンド間のインターバル時間を変更する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1に記載の遊技機において、

前記変更手段は、

遊技球の払い出し数から遊技球の発射数を引いた差球数を所定時間毎に検出する差球数検出手段を備え、

前記差球数検出手段で検出した所定時間ごとの差球数に基づいて、特定遊技状態における前記可変入球手段のラウンド間のインターバル時間を変更する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項1に記載の遊技機において、

前記変更手段は、

所定時間内における前記特定遊技状態の発生回数を検出する発生回数検出手段を備え、
前記発生回数検出手段で検出した所定時間内における前記特定遊技状態の発生回数に基づいて、特定遊技状態における前記可変入球手段のラウンド間のインターバル時間を変更する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の遊技機において、

前記変更手段は、

前記特定遊技状態の発生から次の特定遊技状態の発生までの時間を検出する発生間隔検出手段を備え、

前記発生間隔検出手段で検出した前記特定遊技状態の発生間隔に基づいて、特定遊技状態における前記可変入球手段のラウンド間のインターバル時間を変更する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか一つに記載の遊技機において、

さらに、前記特定遊技状態における前記可変入球手段のラウンド間の期間であるインターバル期間における、遊技盤への遊技球の打ち込み内容に基づいて、所定の特典を付与する特典付与手段

を備えていることを特徴とする遊技機。